

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2018.4 April vol.42-1

二月定例議会一般質問概要

点から面の支え合い

様々な人や団体が連携した取組に

2月19日から3月15日まで定

乳幼児の育ちを支える

幼児教育センター

例議会が開かれ、知事提案、平成30年度一般会計予算など予算案39件、法律改正に伴う手数料改定など条例案27件、包括外部

をされるのか。教育長 平成30年度から、就学

向かっていく子どもの力を育成するための端緒としたい。

子育て世代包括支援センター

6件、県立大学出雲キャンパス新棟整備工事など報告4件、議員提出議案「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」は、

すべて可決し終了しました。私

を収集し、各市町村に提供していく考えはないか。

健康福祉部長

の一般質問は、次の通りです。

導主事、松江、浜田の2つの教

報について、研修会等を通じて提供。全国的な先進事例は、国

しまコトアカデミーによる

関係人口づくり

事業開始から6年となる事業の成果と評価はいかがか。

地域振興部長

しまコトアカデミーは、東京では平成24年度か

ら、そして大阪では平成27年度

からそれぞれ実施し、この6年

間で計109人が受講、そのうち

島根に移住した人が19人、ま



園所を訪問しての研修の支援を
中心とした取り組みを行う。各
園所における幼児教育の実態を
把握しつつ、県内の幼児教育に

把握しつつ、県内の幼児教育に
把握しつつ、県内の幼児教育に

田舎ツーリズムによる

インバウンド対策

訪日外国人の誘客を推進し

関する知見を集約し、全ての幼
児教育関係者のよりどころとな
るプログラムの作成などにも取
り組む。

ていく山陰インバウンド機構で
は、しまね田舎ツーリズムも視
野に入れられているのか。

幼児教育の充実、振興を通し
て、主体的に課題を見つけ、様々

ド機構としても、外国人旅行者
の誘致に活かせることから、今

な他者と協働しながら、定まっ

後、しまね田舎ツーリズムと連

た答えのない課題にも粘り強く

携していく。具体には、田舎ツ

向かっていく子どもの力を育成

ーリズムの支援を行うふるさと
島根定住財団と連携して、田舎

するのための端緒としたい。

体験の提供者が次のステップと
して外国人の受け入れにもチャ

健康福祉部長 現在県内で先進

レンジできるよう、研修会の開
催などを行う。さらに、現場で

いく考えはないか。

外国人をスムーズに受け入れら
れるよう、観光協会等と連携し

報について、研修会等を通じて

て、外国人対応窓口の設置を検
討している。

提供。全国的な先進事例は、国

から情報に適宜市町村に伝え
ている。引き続き先進事例の

情報提供とともに、平成30年度、

の成果と評価はいかがか。

県の補助制度も創設し、市町村

の成果と評価はいかがか。

の子育て世代包括支援センター

の成果と評価はいかがか。

設置を促進していく。

の成果と評価はいかがか。

把握しつつ、県内の幼児教育に

把握しつつ、県内の幼児教育に

た、移住には至らないまでも、最近、働き方を見直す動きが知事職務代理者 この関係人20人以上の人が島根の食を紹介するイベントを企画開催するなど様々な取り組みを自主的にやっている。中には、しまコトアカデミーの運営に協力の参加を希望する人は引き続き増えるものと予想する。しまコトアカデミーの今後の取り組みと展望はどうか。

皆さんが抱える課題の解決に取り組んだ一年の活動報告

3月10日、角ともこ県政報告会と後援会総会がありました。総会に合わせて、亀井亜紀子衆議院議員から、森友問題をめぐってなど国会情勢を織り

込みながら、国会での活動について講演がありました。

私からは、この一年間の質問を中心にして報告しました。毎回の定例議会では、県民の皆さんと意見交換する中で見えてきた課題を取り上げ、解決に向けた提言も含めて質問しました。この中には新聞で取り上げられたものもあり、一石を投じることもできましたのではないかと思います。

見ながら県民の声を聴く姿勢が必要ではないか、と指摘しました。また、映画製作と連動した「ご縁の国島根観光プロモーション」による島根の観光等への波及効果を質し、観光客呼び込みのための観光施策の在り方についての検討の必要性を指摘しました。

議会でも議論されたことが、その後、どのように解決に向かったかを議事録として残していくことは、後の検証の参考資料になります。その意味でも、質問に取り上げていくことが大事と考えています。

3月13日、議会政策研修会が開かれ、大正大学地域構想研究所の清水真一教授の講義がありました。日本版DMOとは観光による地域づくりであり、これまでの観光協会など観光関係者だけではなく、商店街、業者も一緒になって取り組まなければならないと講演されました。

議会政策研修会 日本版DMOを核とした 観光地域づくり

2月議会で、私もしまね田舎ツーリズムを取り上げ、田舎暮らし体験による観光客呼び込み、特に訪日外国人を呼び込むことについて質問したこともあり、関心のある講義でした。私からも、田舎ツーリズムで受け入れ側の農家は外国人を呼び込むことに対して、まだまだハードルが高いが、その支えとしてどういったことが必要かとの質問に、伴走型のコーディネートターの必要性を話されました。しっかりとした支援体制をつくり、農業者や商業者、地域の人たちと知恵を出し合

い、力を合わせることで島根の観光による地域づくりの未来が開けると感じました。

真実を伝える公文書に

国会では、国有地売却に関わる公文書改ざんの真相解明が進んでいます。公に関する事柄がどういった経緯で決められていったかを明らかにする公文書は、その後の歴史研究の上でも貴重な資料となるもので、絶対に廃棄や改ざんがあつてはいけません。真相解明とともに、公文書管理法が骨抜きにされないよう注視していきましょう。



県議会議員を前に講演する清水真一教授